

—国際シンポジウム アンケート (2012/11/7) —

()内の数は、回答人数

I ご参加の目的をお聞かせ下さい。

- ・ ユネスコ事務局長の講演を聞くため (5)
- ・ 女性教員のメンターになっているので、男女共同参画についての知見を得たい (1)
- ・ 神戸大学の取り組みだけでなく、世界的な取り組みの現状を知る機会として参加した (4)
- ・ 社会基盤として女性の活用に関心があった (1)
- ・ 新しい知見を得たかったので (2)
- ・ 国際社会における女性研究者の状況・問題点、改善例などを知り、今後の働き方に活かしたい (1)
- ・ 男女共同参画事業について知りたかったから (3)
- ・ システム改革事業を推進する上で (1)
- ・ 日本経済の新たな再生のためには女性の進出が不可欠だから (1)
- ・ テーマに興味があったから (6)
- ・ 女性のキャリア形成について考える材料にしたい (1)
- ・ 神戸大学の取り組みを知るため (2)

II シンポジウムの内容について

1) 講演について

とても良かった (9) 良かった (30) どちらとも言えない (5)

- ・ 質問での事務局長のプライベートな話が興味深かった (1)
- ・ 質問時間が長かったから (1)
- ・ 講演者自身の経験に基づく内容が、説得力があってよかった (1)
- ・ 話のほとんどの内容が、講演で初めて知った (1)
- ・ 事務局長の講演資料がほしかった (1)
- ・ 女性研究者の状況について、ユネスコ・研究者・行政の立場から知ることができた (2)
- ・ 講演の内容はインターネットを見れば簡単にわかることだから (1) ←どちらとも言えない回答者
- ・ 日常的問題と結びつけることができた (1)
- ・ 世界の女性研究者からの経験談を聞き、新しい考え方と視野を取り入れることができた (3)
- ・ それぞれの分野でトップの女性の話がきけた (2)
- ・ パーソナルな事が少なく、現実味が少なく感じた(1)←どちらとも言えない回答者
- ・ 科学分野における女性参画の意義を再確認できた (1)
- ・ シェファー氏の具体的な話を聞くことができた (1)
- ・ 仕事と家庭の両立は様々な方向からの支援が必要であるし、周りの理解を得るということが重要であることがわかった (1)

2)パネルディスカッション

とても良かった (1 1) 良かった (2 5) どちらとも言えない (4)

- ・ 各研究科長がこのプロジェクトをポジティブに捉えているのが印象的だった (1)
- ・ 男性ばかりで表面的なコメントで終わるかと思ったが、研究科長からプログラムの評価や今後の推進が明言されたことには大きな意味があると感じた (1)
- ・ 研究科長の認識が理解できた (3)
- ・ 本音の部分が聞けた (3)
- ・ 神戸大学における女性研究者の現状と研究科長の意見を知ることができた (9)
- ・ うすっぺらい内容という印象を受けた。建前としての建設的な意見をありがとう (1) ←どちらとも言えない回答者
- ・ この問題について男性研究者が語るというのが興味深かった
- ・ 神戸大学で行った意味が感じられる内容であったため
- ・ 数値的な報告にとどまらず、もっと具体的な研究科からの考えを聞いたかった (1) ←どちらとも言えない回答者
- ・ とても参考になった (1)
- ・ ポジティブアクション等の活動の周知が大切だと感じた (1)
- ・ 神戸大学にいながら、このような取り組みについて詳しく知らなかったため、このような機会がありとてもよかった (1)

本日の「国際シンポジウム」の感想、今後とり上げてほしい話題やテーマがあれば、お書き下さい。

- ・ ゲストの話が一般的なことが多かったので、もっとつつこんだ話が聞きたかった (1)
- ・ 女性の採用についてはまだまだ反対も多いですが、こういった場が啓発になっていると思います。勇気づけられました。もう少し本音も聞きたかった (1)
- ・ 女性の参画はまだ進んでいないことがわかった (1)
- ・ 企画そのものが素晴らしい (1)
- ・ 女性教員を増やす効果が聞いてよかった (1)
- ・ 世界から神戸大学における女性研究者の状況を知ることができ、幅広い情報を得ることができた (1)
- ・ 通訳音声ももれている機器があり、耳障りであった／日本語通訳が聞きにくかった (1)
- ・ 男女共同参画社会の実現が、男女ともに力をあわせて、社会や家庭を築いていく方向に向いていてよかった (1)
- ・ 研究者以外の分野も深めてほしい (1)
- ・ 神戸大学が女性研究者を増やそうとしている状況がみえてうれしかった (1)
- ・ 科学者をめざす女性に対する励ましになったと思う (1)
- ・ 女子学生にもっと広く参加を呼びかけてほしい (2)
- ・ 現状の問題点を把握することが、問題の改善・解決のためには重要であり、そういった意味で一人でも多くの人に気付きを与える点でよかったと思う (1)
- ・ もう少しまとを絞ったものだと、もっと良かった (1)
- ・ アレキサンダー先生のお話し、とても良かったです (1)
- ・ 女性研究者だけでなく、自分自身についてもこれから仕事を続けていく上で、女性であるがゆえにかかる問題についても考えることができた。

- ・ こういう会に出席しない人に出席してもらうことこそが大切ですが、難しいですね (1)
- ・ 女性の多い分野の男性の参画についても取り上げると、いいのではないかと (1)
- ・ 世界の経済および雇用状況 (1)
- ・ ワークライフバランスを充実させるために、どのような環境整備が必要か、シンポジウムまたはワークショップのような形式で議論する機会があればと思います (1)
- ・ 教員だけでなく、職員についても範囲をひろげてほしい (1)
- ・ シングルマザーに関する問題 (1)
- ・ 在学生に向けた同様のプログラムを開催してほしい (1)
- ・ 理系研究科だけでなく、だれもが参加できるキャリアカフェを開催してほしい (1)
- ・ 山口一男先生からダイバーシティの話を知りたい (1)
- ・ 分野によっては、女性研究者の母集団が少ないという意見もありましたが、この3年でこれだけのことができたのだから、これを機会に女性研究者を育てるという観点があっても良いと思います (1)
- ・ 女性の雇用、キャリア形成に関するもの (1)
- ・ 研究者だけでなく、働く人のワークライフバランスをテーマにしてほしい (1)
- ・ 具体的な支援制度 (企業、他大学) を例示してほしい (1)
- ・ 短時間勤務や育児休業の浸透状況など (1)
- ・ 良い人材を探し採用するためには、アピールだけでなく応募しやすい公募時期だったり、明確な内容など、もっと工夫があればよい (1)
- ・ もっと聴衆がいればよいと思った (2)
- ・ 女性研究者として実際に活動されている方を招いて今後の課題を話し合うのも良いのでは (1)
- ・ 若者が考える男女共同参画とは、ジェンダー格差とは (1)
- ・ 自然科学系の女性教員の採用が増加していることは、職員にとっても心強いことです。女性職員は男性職員と同じくらい働きやすくなっています。これは大学の雇用制度的にも女性が働きやすい職場になっていることでもあります。本日スピーチをしてくださった方々のような女性たちの取り組み、努力のおかげであり、感謝すべきだと思いました (1)

年齢

20代 (11) 30代 (12) 40代 (9) 50代以上 (7)

ポジション

学部生 (2) 学生 (修士課程) (5) 学生 (博士課程) (2)

職業

教員 (神戸大学) (12) 職員 (神戸大学) (16) その他 [未記入 (2)]

国際シンポジウムの開催を知った経路は

ポスター (4) 学内連絡 (29) 指導教員 (6) 知人 (0)

ウェブサイト [大学 (1)・推進室 (1)・その他のサイト・未記入 (1)] その他 [メール (1)]